

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	システマティックレビュー	
タイトル情報	論文の英語タイトル	A systematic review of treatment modalities for primary basal cell carcinomas	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCQ6-1	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究(コホート研究や症例対照研究) V. 記述研究(症例報告やケースシリーズ) VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I)	
	Pubmed ID	10522664	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Dermatol	
	雑誌 ID	10	
	巻	135	
	号		
	ページ	1177-83	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1999 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Thissen MR	Maastricht Medical Center
その他著者 1		Neumann MH	同上
その他著者 2		Schouten LJ	Comprehensive Cancer Center

	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		
レビュー研究の 6 項目	目的	基底細胞癌の治療法別再発率を検討する	
	データソース	MEDLINE、EMBASE、CANCERLIT	
	研究の選択	基底細胞癌に対し、通常の切除術、Mohs 手術、Cryosurgery、Electrodesiccation、放射線療法、Immunotherapy、Photodynamic therapy を施行した研究を選択。	
	データ抽出	298 文献を抽出。言語、病理学的確定がついていない症例が含まれる、遡及的研究、経過観察が 5 年未満、50 例未満の報告、レビュー、重複投稿、整容性の報告の論文を除外し、18 文献が残った。	
	主な結果	再発率 Mohs 手術：1.1%、通常の切除：5.3%、Cryosurgery：4.3%、Curettage および Desiccation：13.2%、放射線療法：7.4%、Immunotherapy：21.4%	
	結論	治療法別の再発率の違いは報告の仕方(解析の仕方)が異なるため単純にはできない。Mohs 手術は大きな腫瘍、危険領域に発生した morphea-type の腫瘍には用いるべきである。結節性や表在性の小さな腫瘍では、通常切除術が用いられるべきである。他の治療法は手術が適応とならない症例に用いる。Immunotherapy と photodynamic therapy は研究段階の治療である。	
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	師井 洋一	
	レビューワーコメント	基底細胞癌の治療法別に再発率を検討した貴重なデータ レベル I	

